

カストロの勝利は、もうひとつの LA 左翼の勝利

<https://venezuelanalysis.com/news/15399>

12月1日 ベネズエラ・アナリシス



ホンジュラス大統領選挙でシオマラ・カストロが圧勝した。左派自由党は12年間の国民党支配にとどめをさした。

ベネズエラのマドゥーロ大統領はカストロを祝福する声明を発表した。

「これは歴史的な勝利です。とりわけ、2009年のマヌエル・セラヤ前大統領に対する野蛮なクーデター以来、声を上げ続けた英雄と殉教者の命と犠牲を称えたいと思います。

クーデターの後、この地を覆い続けたのは、自分勝手なネオリベリズムの経済でした。国民の要求を無視し、政治的自由と基本的な人権を蹂躪するシステムでした」

シオマラ・カストロは、中米における初の女性大統領となった。対抗馬であった国民党のアスフーラに20ポイント近い差をつけての圧勝であった。

前回選挙では保守派の勝利をゴリ押しした与党も米国も、これだけの差を認めないわけには行かなかった。

カストロの政治姿勢

新大統領となったカストロは他の中米諸国の指導者とは対照的だ。

反ベネズエラの合唱の輪に加わるどころか、マドゥーロの祝福に率直に感謝し、ボリバル革命への共感を隠そうともしない。

なぜなら、彼女はベネズエラやキューバ、ニカラグアをふくむ進歩同盟に加わり、そのために軍事クーデターで追放された**マヌエル・セラヤ元大統領の伴侶**でもあるからだ。

左派自由党の国際担当書記ジェラルド・トーレスは BBC にこう語った。

「セラヤ元大統領を追い出した後、政権について保守党のフアン・オルランド・エルナンデス大統領は、フアン・グアイドをベネズエラ大統領として推挙しましたが、新政権はもうグアイドを大統領として認めることはないでしょう」

ほぼ同時に行われたベネズエラの地方選挙では、与党ベネズエラ統一社会主義党が圧勝した。ニカラグアの国政選挙ではダニエル・オルテガが再選を果たした。

ホンジュラスにおける自由党の勝利は、西半球の左翼にとってさらにもう一つの勝利を意味する。

（私感：これらの圧倒的な民意を西側のメディアや市民勢力は黙殺し、「人権の名において」左翼勢力を非難し続けるのだろうか。もしそうなら、それはドイツの左翼党が惨敗したごとく、強烈なしっぺ返しとなって報復するだろう）